

## 98年4月(第44回)景気定点観測アンケート調査結果

調査期間：1998年4月1日～1998年4月7日

調査対象：経済同友会幹事・経済政策委員 計404名

集計回答数：200名(回答率=49.5%)〔製造業72名、非製造業128名〕

今回のトピックス：98年度の事業環境の展望

\*本調査は年4回(1月、4月、7月、10月)実施

### 【調査結果の概要】

#### “消費・投資マインドが冷え込み、景況感は一段と悪化”

#### 企業収益も低迷へ

- 現在の景気動向について、「後退している」(70%)、「緩やかに後退している」(20%)と、**景況感は一段と悪化**している。引き続き金融システム不安に端を発した個人消費の低迷がその主因である。98年度の景気パターンについても7割以上の人「前半の低迷状態が後半まで続く」と考えている。(図表1～3)
- 景気低迷の影響が企業収益にも表れつつあり、特に製造業では1～3月期、4～6月期ともに「減収減益」予測が3割を超えている。(図表9)

### 〔トピックス<98年度の事業環境の展望>〕

#### 従来型公共投資の増額よりも、早期に大型の減税断行を

- 景気の現状を踏まえた上で、**特に重要と思われる経済対策の視点**としては、**財政構造改革法の弾力化や建設国債の解釈拡大等により、「早期に大型減税を断行」(76.9%)し、「新分野への公共投資を拡充」(50.8%)**することが挙げられている。(図表17)
- 事業環境について、**アジア経済混乱が及ぼす影響**は「アジアの需要低迷による収益環境の悪化」(58.9%)、「アジア地域での事業展開への悪影響」(49.0%)を懸念する声強い。**金融ビッグバンの影響**については、「資金調達・運用メニューの拡大が期待できる」(64.8%)と前向きに捉えられているとともに、金融保険業では「新規事業への参入チャンスが拡大する」が8割に達している。**外為法改正の影響**は、現段階では限定的とみられるが、**今後の対応によりメリットが期待**されている。(図表18～20)
- 98年度に**特に重視する経営課題**としては「国内市場での販売力強化」(43.8%)、「新技術・新製品の研究開発」(31.9%)に回答が集中したように、**前向きの経営姿勢に転じつつある**ことが読み取れる。(図表21)

・日本経済

1. 景気の現状について

(1) 現在の我が国の景気動向をどのように判断されますか。

景況感は調査を重ねる毎に悪化

図表 1

(回答者数200、回答比%)

| 調査時点          | 97/4 | 97/7 | 97/10 | 98/1 | 98/4 |
|---------------|------|------|-------|------|------|
| 拡大している        | 1.5  | 3.3  | 0.0   | 0.0  | 0.0  |
| 緩やかに拡大している*   | 69.5 | 75.2 | 3.9   | 0.5  | 0.0  |
| 横ばい状態が続いている** | 28.5 | 21.0 | 64.7  | 16.4 | 8.5  |
| 緩やかに後退している*** | 0.5  | 0.5  | 24.2  | 26.7 | 20.0 |
| 後退している****    | 0.0  | 0.0  | 7.2   | 54.4 | 70.0 |
| その他           | -    | -    | -     | 2.1  | 1.5  |

(注)98/1調査までは、\*「緩やかに回復している」、\*\*「足踏み状態が続いている」、  
\*\*\*「緩やかに下降している」、\*\*\*\*「景気低迷が続いている」

(2) そのように判断する根拠をお選び下さい(2つまで)。

金融不安を背景とした消費マインドの冷え込みが景気低迷の主因

図表 2

(回答者数：200)

| 調査時点      |    | 97/4 | 97/7 | 97/10 | 98/1現状 | 98/4現状 | 98/4展望 |
|-----------|----|------|------|-------|--------|--------|--------|
| 設備投資      | 回復 | 44.2 | 37.6 | 2.9   | 0.5    | 0.0    | 1.5    |
|           | 低迷 | 12.2 | 6.7  | 10.6  | 15.4   | 32.0   | 30.5   |
| 企業収益      | 回復 | 32.5 | 55.7 | 2.9   | 0.0    | 0.0    | 1.5    |
|           | 低迷 | 9.6  | 2.4  | 21.7  | 32.3   | 39.5   | 30.5   |
| 個人消費      | 回復 | 6.6  | 7.1  | 0.5   | 0.5    | 0.5    | 12.0   |
|           | 低迷 | 22.8 | 19.5 | 88.9  | 90.8   | 91.5   | 68.0   |
| 公共投資      | 効果 | 1.0  | 0.0  | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 13.5   |
|           | 薄い | 9.1  | 5.2  | 13.5  | 9.2    | 3.0    | 6.0    |
| 住宅投資      | 回復 | 1.5  | 0.0  | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
|           | 低迷 | 3.0  | 6.7  | 41.5  | 27.7   | 7.5    | 4.0    |
| 輸出        | 回復 | 54.8 | 52.4 | 5.8   | 1.5    | 0.5    | 2.5    |
|           | 不振 | 0.0  | 0.0  | 0.0   | 0.0    | 1.0    | 1.0    |
| 輸入        | 増大 | 0.0  | 0.0  | 0.0   | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
| 金融システム不安* |    | -    | -    | -     | -      | 24.0   | 19.0   |
| その他       |    | 4.6  | 3.8  | 5.3   | 14.4   | 0.5    | 5.5    |

(注)\*98/4調査から設定。

(複数回答、回答比%)

2. 98年度(98年4月～99年3月)の景気と主要な経済指標について

(1) 98年度の景気パターンをどのように展望されますか。

**98年度の景気見通しは更に悲観的に**

図表 3

(回答者数：200)

| 調査時点                  | 97/7 | 97/10 | 98/1 | 98/4 |
|-----------------------|------|-------|------|------|
| 年度を通じて緩やかな回復基調が続く     | 39.0 | 2.9   | 0.5  | 0.0  |
| 前半は低迷、後半は次第に回復力が強まり好転 | 42.9 | 11.7  | 28.9 | 18.5 |
| 前半の低迷状態が後半まで続く        | 13.8 | 64.6  | 61.3 | 71.5 |
| 前半は低迷し、後半に入り後退する      | 0.5  | 16.5  | 4.6  | 1.0  |
| 腰折れする                 | 1.0  | 2.9   | 1.5  | 2.0  |
| その他                   | 2.9  | 1.5   | 3.1  | 7.0  |

注：97/10までは97年度の景気パターン

(回答比%)

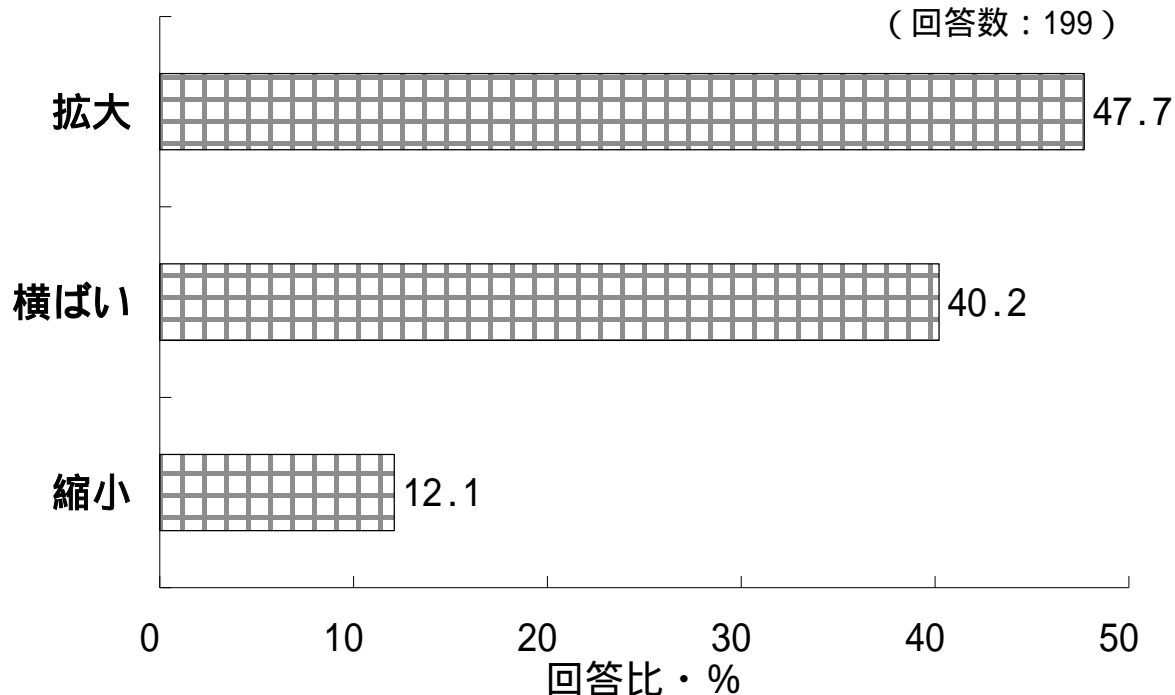
(2) そのように判断する根拠をお選び下さい(2つまで)。[前掲図表2]

(3) 経常収支黒字：前年度対比

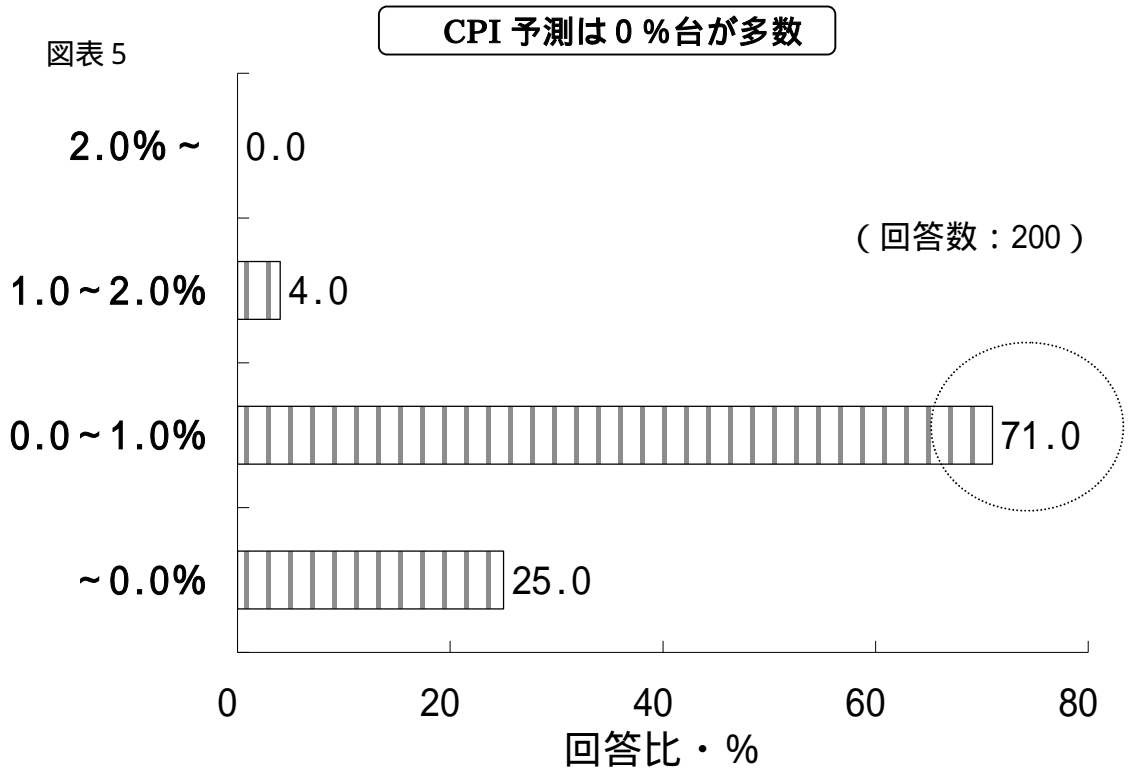
**98年度の経常黒字予測は拡大または横ばい**

図表 4

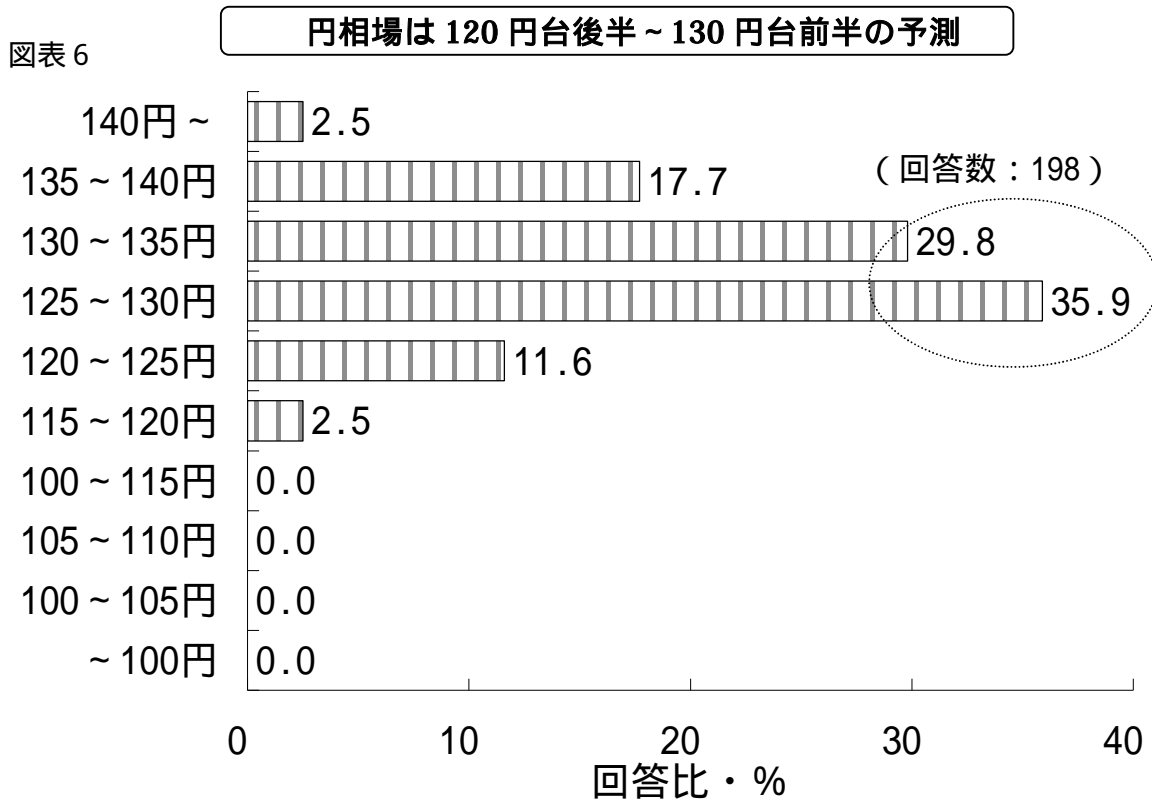
(回答数：199)



(4) 消費者物価上昇率：全国・総合、98年度



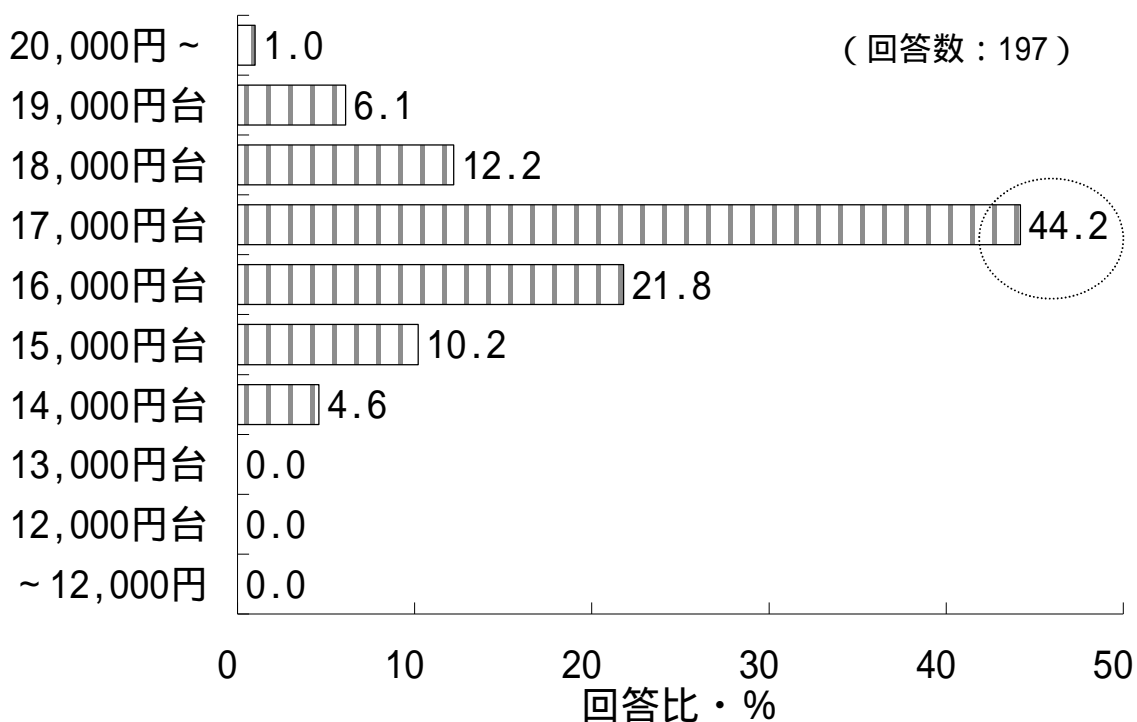
(5) 円相場：98年度平均値



(6) 日経平均株価: 東商 225 種、98 年度末(99/3 値)

図表 7

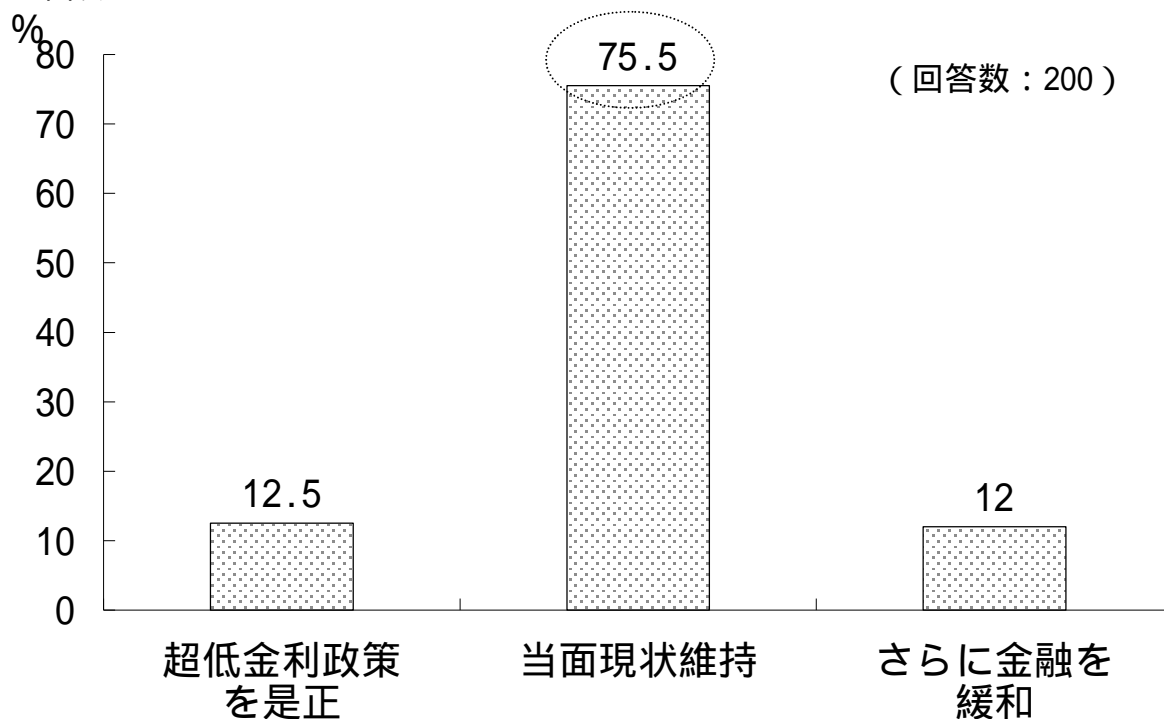
99 年 3 月末の株価予測は 17000 円台中心



(7) 金融政策について、お考えに近い番号をお選び下さい。

図表 8

金融政策は「当面、現状維持」が大多数



経営判断

1. 貴社の業績についておうかがいします。下表から該当する番号をお選び下さい。

**企業収益は徐々に悪化へ  
特に製造業で減収減益の比率が上昇**

図表9(1) 業績(1-3月期見込みと4-6月期予想)

| 全産業 |     | 経常利益      |            |           |
|-----|-----|-----------|------------|-----------|
|     |     | 増益<br>(+) | 横ばい<br>( ) | 減益<br>( ) |
| 売   | 増収  | 15.9      | 7.7        | 5.5       |
|     | (+) | 12.1      | 4.6        | 4.6       |
| 上   | 横ばい | 4.4       | 23.1       | 11.0      |
|     | ( ) | 2.9       | 35.8       | 8.7       |
| 高   | 減収  | 2.2       | 4.4        | 25.8      |
|     | ( ) | 1.7       | 5.8        | 23.7      |

(注)上段：1-3月期見込み、下段：4-6月期予想。  
いずれも前期比。(回答者数 182、回答比%)

表9(2) 業績 - - 製造業

| 製造業 |     | 経常利益      |            |           |
|-----|-----|-----------|------------|-----------|
|     |     | 増益<br>(+) | 横ばい<br>( ) | 減益<br>( ) |
| 売   | 増収  | 11.1      | 9.7        | 6.9       |
|     | (+) | 10.1      | 4.3        | 2.9       |
| 上   | 横ばい | 0.0       | 20.8       | 12.5      |
|     | ( ) | 2.9       | 30.4       | 11.6      |
| 高   | 減収  | 2.8       | 2.8        | 33.3      |
|     | ( ) | 1.4       | 4.3        | 31.9      |

(注) (1)と同じ。(回答者数:72、回答比%)

表9(3) 業績 - - 非製造業

| 非製造業 |     | 経常利益      |            |           |
|------|-----|-----------|------------|-----------|
|      |     | 増益<br>(+) | 横ばい<br>( ) | 減益<br>( ) |
| 売    | 増収  | 19.1      | 6.4        | 4.5       |
|      | (+) | 13.5      | 4.8        | 5.8       |
| 上    | 横ばい | 7.3       | 24.5       | 10.0      |
|      | ( ) | 2.9       | 39.4       | 6.7       |
| 高    | 減収  | 1.8       | 5.5        | 20.9      |
|      | ( ) | 1.9       | 6.7        | 18.3      |

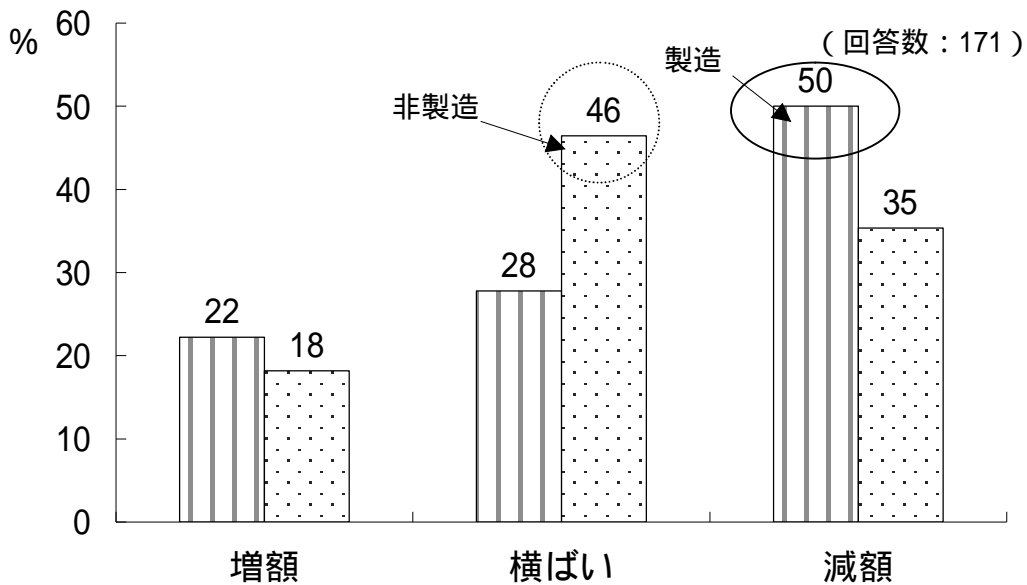
(注) (1)と同じ。(回答者数:110、回答比%)

2. 貴社の設備投資計画(1998年度)についてお伺いします。

(1) 設備投資計画額(98年度)は97年度比でどのようにする予定でしょうか。

図表 10

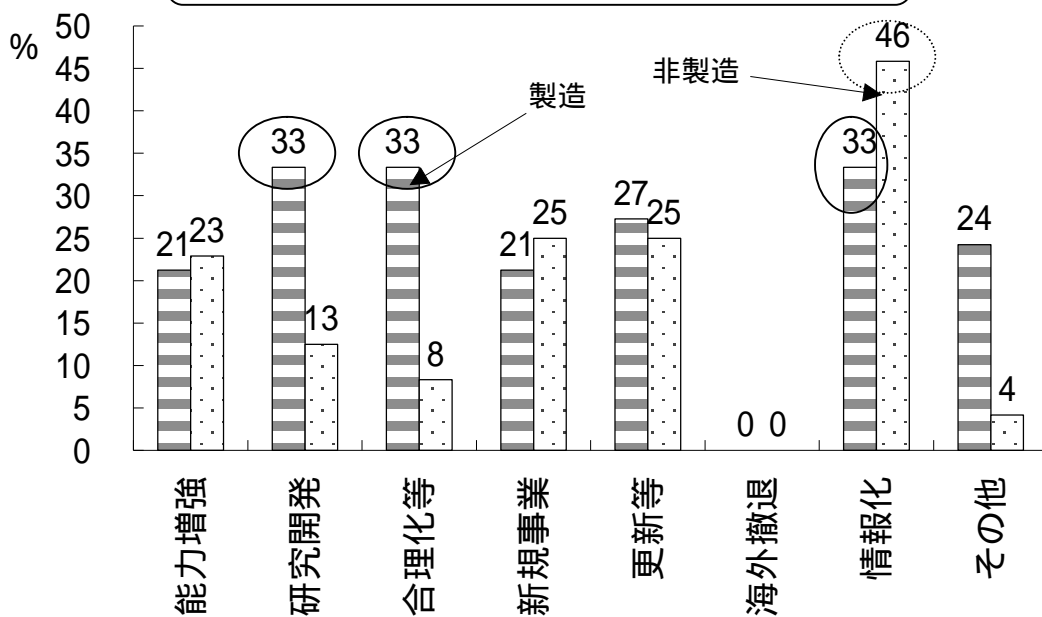
製造業では約半数が設備投資を減額予定



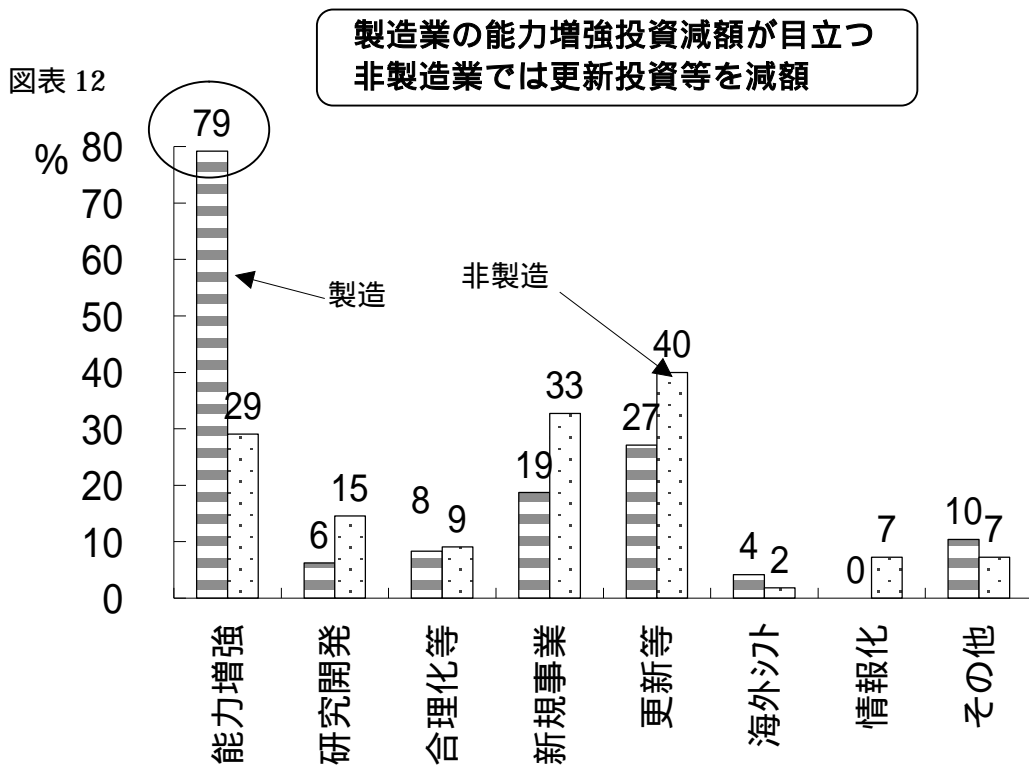
(2) 「(1)」で (増額)および (横ばい)をお選び頂いた方に伺います。増額の主な目的をお選び下さい。(複数可)

図表 11

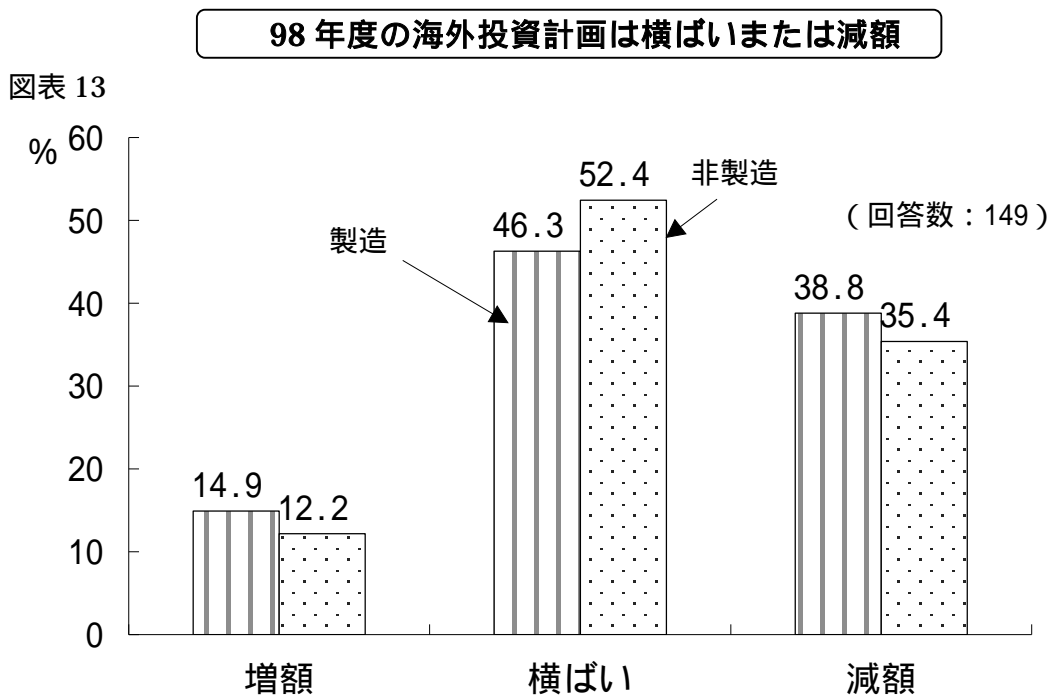
製造業の設投増額目的は合理化、研究開発等  
非製造業では「情報化投資」が増額の主因



(3) 「(1)」で (横ばい)および (減額)をお選び頂いた方に伺います。減額の主な項目をお選び下さい。(複数可)



(4) 海外投資計画額(98年度)は97年度比でどのようにする予定でしょうか。

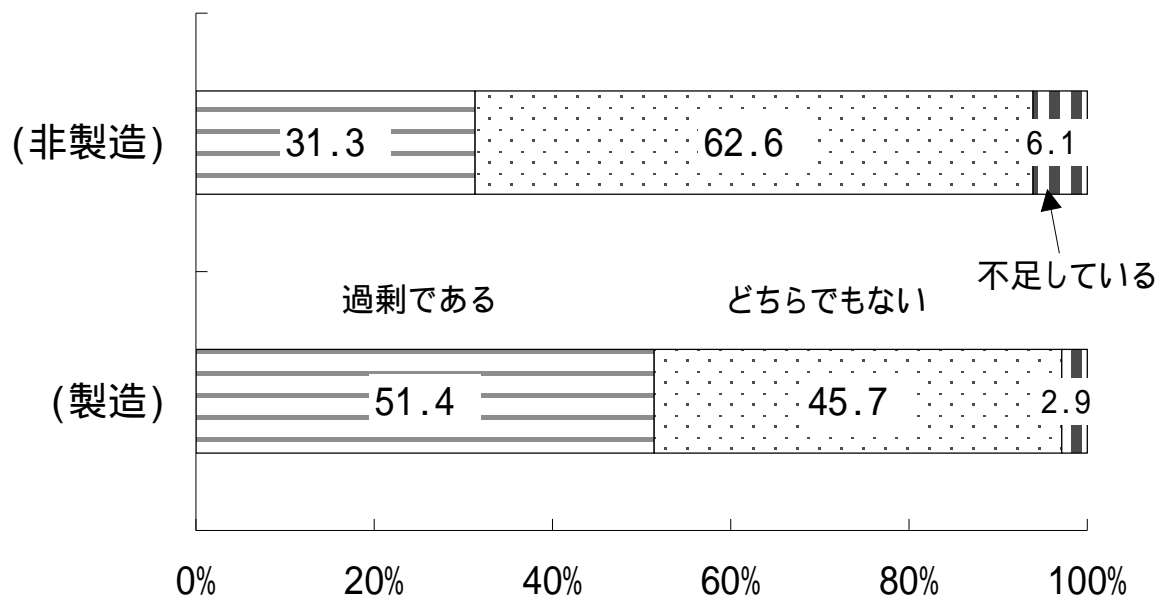




3. 貴社の雇用の状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。

**特に製造業で雇用過剰感が高い**

図表 14



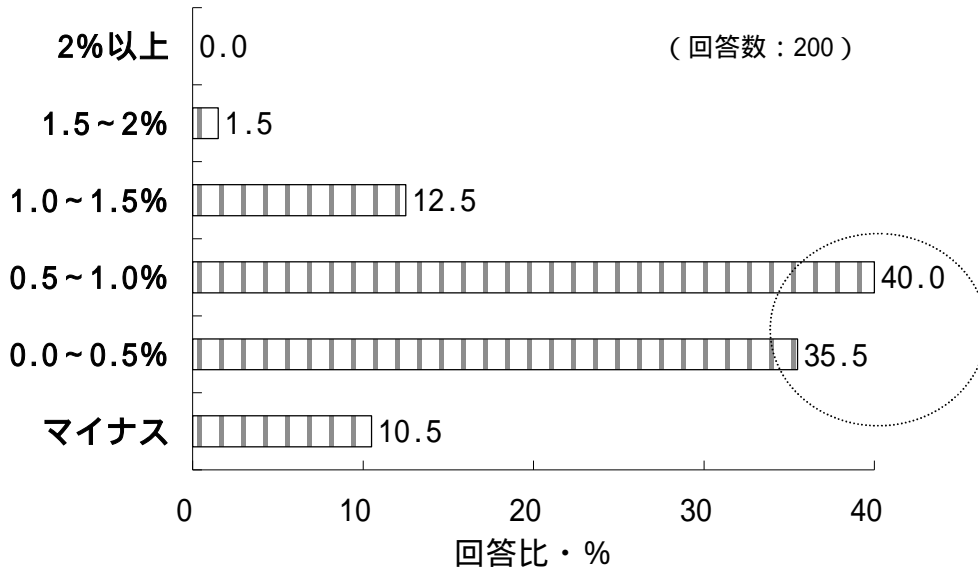
トピックス < 98年度の事業環境の展望 >

1. 本年1月から3月にかけて発表された一連の政府経済対策の評価についてお聞きします。

(1) これらの経済対策を織り込んだ上で、98年度の経済成長率(実質前年度比)をどのように予想されますか。

図表 15

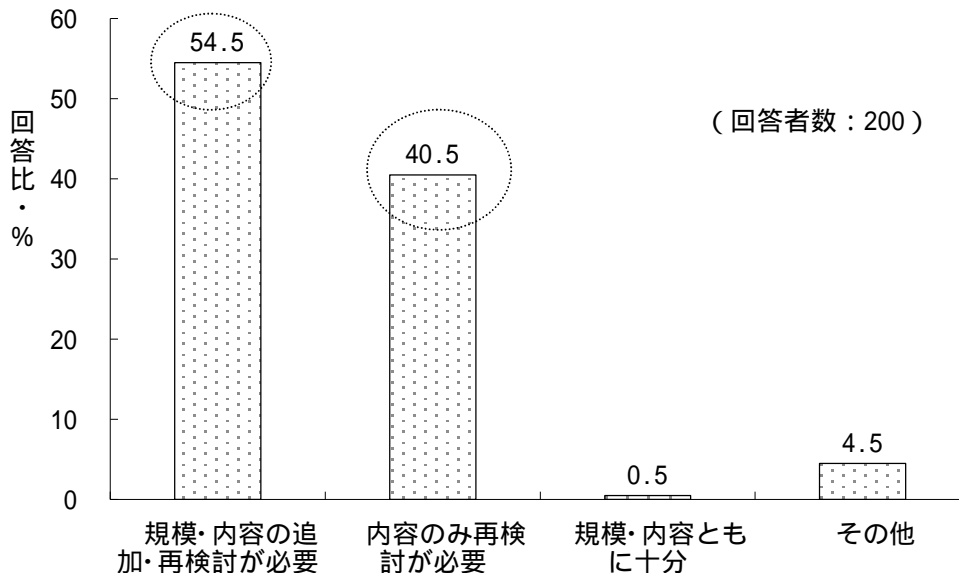
**98年度の経済成長率はゼロ%台の低い見通し**



(2) 一連の経済対策をどのように評価しますか。(注: アンケート実施期間は4月1~7日)

図表 16

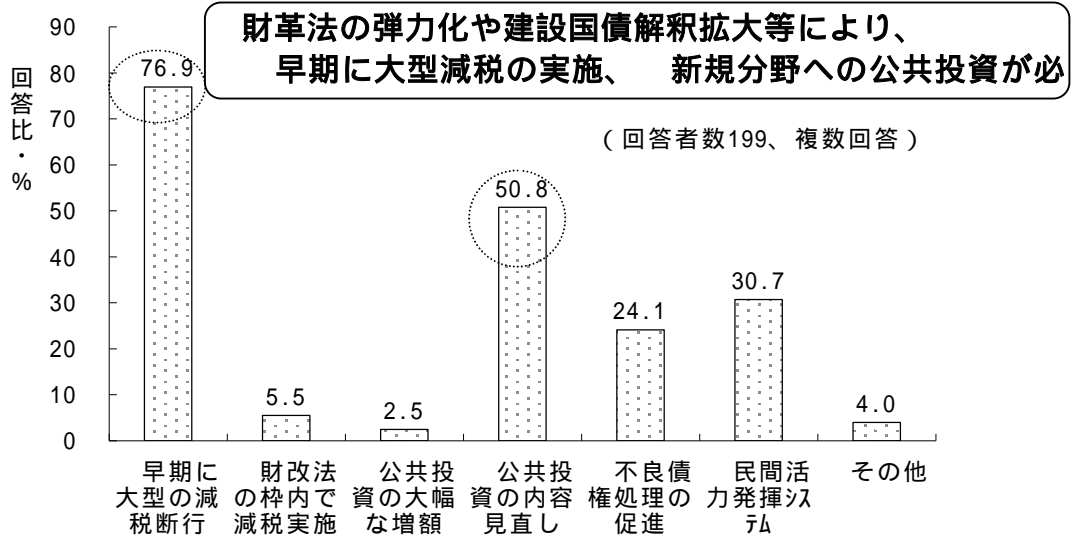
**3月までに発表された経済対策は、再検討の余地大**



規模・内容ともに、追加・再検討が必要である。  
 規模は十分であるが、内容については再検討が必要である。  
 規模・内容ともに十分な対策である。  
 その他 ( )

(3) 日本経済の実態に鑑み特に重要と思われる経済対策の視点・方針は何ですか。(2つまで)

図表 17



**建設国債と赤字国債の区分廃止や財政構造改革法への弾力条項新設等により、早期に大型の所得税・法人税減税を断行する。**

所得税・法人税の減税は必要であるが、財政構造改革法の枠内で政策減税を行う。

十分な財政出動を伴う形で、従来型の公共投資を大幅に増額する。

**効果の低い従来型の公共投資を削減し、建設国債の解釈拡大等により、環境・教育・情報通信等、将来につながる新分野への投資を拡充する。**

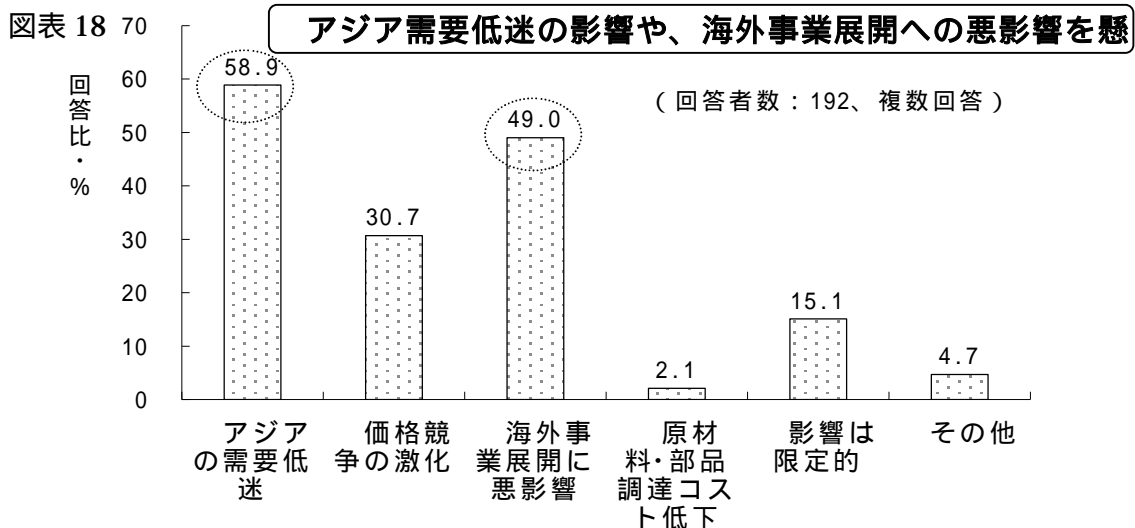
金融不安を解消するため、不良債権処理の促進策に力を入れる。

規制緩和等、民間活力を發揮しうるシステムの整備を進める。

その他 ( )

2. アジア経済混乱や、金融ビッグバンの一層の進展とその一環として改正外為法の施行(98年4月)が貴社の事業環境に及ぼす影響について、最も近いお考えをお選び下さい。

(1) アジア経済混乱の影響について(2つまで)



**アジアの需要低迷が響き、収益環境の悪化が懸念される。**

**価格競争の激化により、収益環境の悪化が懸念される。**

**アジア地域での海外事業展開に対する悪影響が懸念される。**

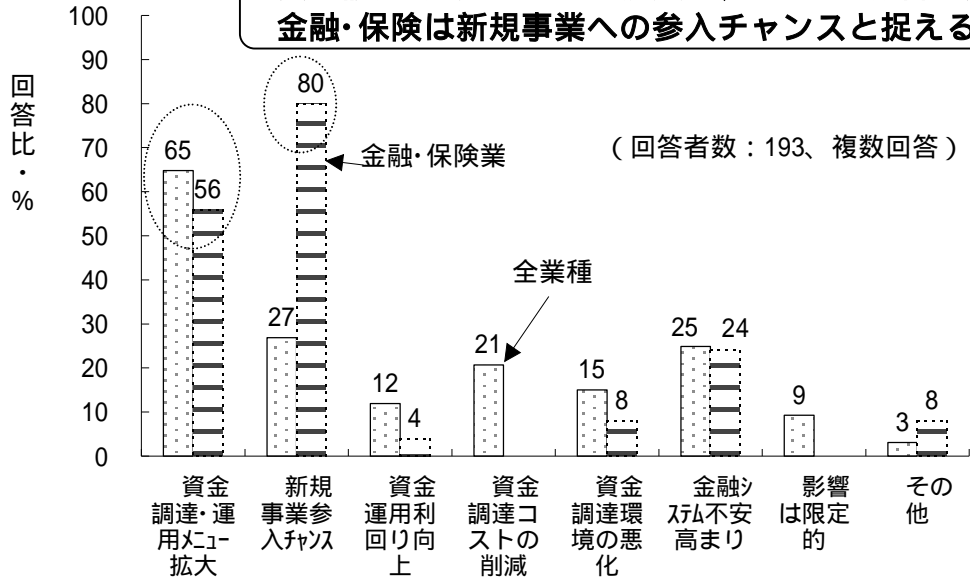
原材料や部品などの調達コストが低下し、利益率の改善が期待出来る。

アジア経済混乱の影響は限定的である。 その他 ( )

(2) 金融ビッグバンの影響について(2つまで)

図表 19

**資金調達・運用メニュー拡大等、プラスの影響を期待  
金融・保険は新規事業への参入チャンスと捉える**

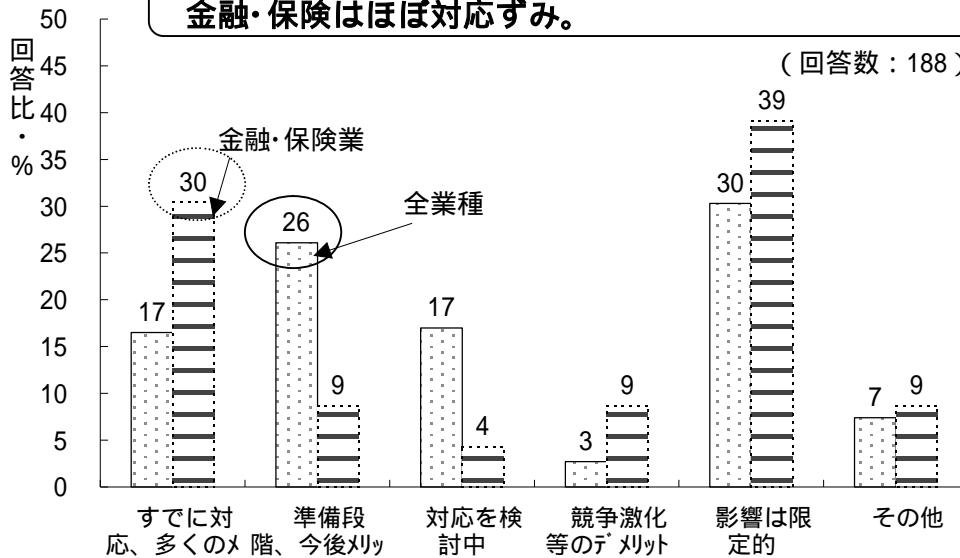


資金調達・運用メニューの拡大が期待出来る。 新規事業への参入チャンスが拡大する。  
 資金運用利回りの向上が期待出来る。 資金調達コストの削減が期待出来る。  
 資金調達環境の悪化が懸念される。 金融システム不安の高まりが懸念される。  
 金融ビッグバンの影響は限定的である。 その他 ( )

(3) 外為法改正の影響について(1つ)

図表 20

**外為法改正の影響は限定的。対応によりメリット期待。  
金融・保険はほぼ対応済み。**

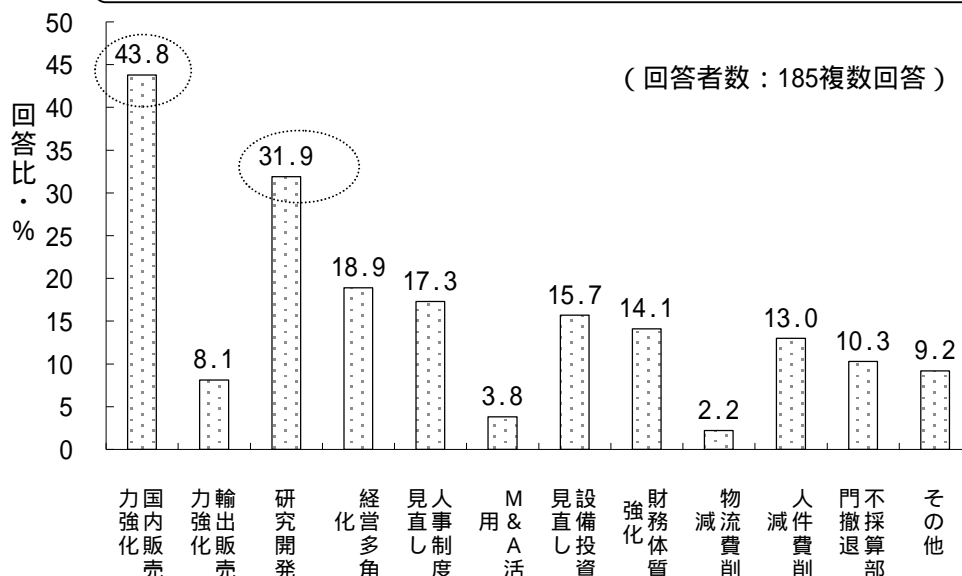


これまで対応を進めており、4月から多くのメリットが期待出来る。  
 現在準備段階にあり、今後はメリットが増える見込みである。  
 何らかの対応を検討中である。  
 競争激化などのデメリットが懸念される。  
 外為法改正の影響は限定的である。 その他 ( )

3.引き続き厳しい景気情勢が見込まれる一方、経済の市場化やグローバル化の進展に伴い、ROE(株主資本利益率)など資本効率を高めていく経営姿勢が求められています。こうしたなか、特に98年度に重視する経営課題をお選び下さい。(2つまで)

図表 21

**経営課題として国内市場での販売力強化、研究開発等を重**



**国内市場での販売力強化  
新技術・新製品の研究開発**

人事制度見直しによる組織の活性化  
効率性を重視した設備投資の見直し  
物流費削減による合理化  
不採算部門からの撤退

**輸出市場での販売力強化**

新規事業展開等の経営多角化  
M & Aを活用した経営資源の効率化  
金融費用削減等による財務体質強化  
人件費削減による合理化  
その他 ( )

< 参考 > 回答者所属企業 / 業種内訳(人数)

|              |       |
|--------------|-------|
| 製造業          | 72 人  |
| 加工組立         | 43    |
| 素材           | 29    |
| 非製造業         | 128 人 |
| 農・林・漁業       | 0     |
| 鉱業           | 2     |
| 建設           | 18    |
| 卸・小売         | 17    |
| 金融・保険・証券     | 26    |
| 不動産          | 7     |
| 運輸・通信・倉庫     | 10    |
| 電気・ガス・水道・熱供給 | 6     |
| サービス         | 26    |
| 分類不能         | 16    |
| 回答者総数        | 200 人 |